



2022年1月20日

各位

会社名 株式会社サーキュレーション
代表者名 代表取締役社長 久保田 雅俊
(コード: 7379、東証マザーズ)
問合せ先 取締役経営管理本部長 山口 征人
(TEL. 03-6256-0467)

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、2021年9月13日に公表した2022年7月期第2四半期累計期間(2021年8月1日から2022年1月31日)の業績予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 業績予想の修正について

2022年7月期第2四半期累計期間(2021年8月1日から2022年1月31日)の業績予想の修正

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
前回発表予想(A)	百万円 3,378	百万円 241	百万円 239	百万円 154	円 銭 18 71
今回修正予想(B)	3,378	330	328	211	25 53
増減額(B-A)	0	89	89	57	
増減率(%)	0.0	36.9	37.2	37.0	
前期実績※	-	-	-	-	-

※2021年7月期第2四半期については、四半期財務諸表を作成していないため、2021年7月期第2四半期の数値は記載しておりません。

2. 修正の理由

(1) 当第2四半期累計期間の業績予想は、前回発表予想の基礎となる採用計画を下回る見込みとなり、主に人件費及び人材採用費が縮減したことに伴い、販売費及び一般管理費が減少いたしました。一方、コンサルタント生産性は第2四半期も第1四半期と同程度で推移し、期初計画を上回る見込みとなります。この結果、売上は期初計画通り推移し、各利益段階においては前回発表予想を上回る見通しです。

※コンサルタント生産性は、当会計期間内の各月売上総利益の総和と同期間内の各月予算有コンサルタント人員数の総和で除した予算有コンサルタント当りの月次平均売上総利益で、管理会計ベースで算出しております。

(2) なお、2022年7月期下期の採用活動の見通しといたしましては、期初計画段階より下期に重点を置いた採用計画であったものの、当上期で獲得しきれなかった分を補うべく、より積極的な活動を行います。母集団形成は順調な現況にて、下期においてはより採用関連費用を投じ採用活動を強化していくことを鑑み、下期における採用数は、前回発表予想の採用計画通り推移するものと考えております。

(3) 以上を踏まえて、当第2四半期累計期間の業績予想は各利益段階において上方修正いたします。一方、当第2四半期累計期間売上高、2022年7月期通期の業績予想につきましては変更ございません。また、新型コロナウイルス感染症（COVID-19）の当社業績への影響は軽微であります。

※上記の業績予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づいて作成したものであり、実際の業績は、今後の様々な要因によって予想値と異なる可能性があります。

以 上